

同時発表

広島県政記者クラブ

平成22年10月8日  
国土交通省河川局

平成22年7月の梅雨前線豪雨により被災した

一級河川<sup>おおつえがわ</sup>大津恵川・一般県道中迫川<sup>なかさこかわきたせん</sup>北線の災害関連事業について

平成22年7月の梅雨前線豪雨によって溢水氾濫し、家屋浸水等の被害が発生した広島県の一級河川<sup>ごうのかわ</sup>江の川水系大津恵川<sup>おおつえがわ</sup>並びに法面崩壊等により全面通行止めとなった一般県道中迫川<sup>なかさこかわきたせん</sup>北線において、再度災害の防止を図る「災害関連事業(関連事業)」を採択しました。

問い合わせ先

国土交通省河川局  
防災課 課長補佐 高木 優 (内線35752)

代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8458

おおつえがわ  
一級河川 大津恵川の浸水被害対策に着手！

～河川等災害関連事業(関連事業)を採択～

平成22年7月16日の庄原市における局地的な豪雨によって溢水氾濫し、家屋浸水等の甚大な被害が発生した一級河川江の川水系大津恵川において、河川等災害関連事業を採択しました。

広島県では、今年度から3年間の予定で浸水被害の軽減を図るための事業を実施していくこととなります。

(参考)

■関連事業の概要

- 事業主体 : 広島県
- 事業区間 : 1,380m (広島県 庄原市 川北町 重行)  
しょうばらし かわきたちょう しげゆき
- 事業内容 : 出水によって被災した護岸の災害復旧とあわせて、河道断面の拡幅、橋梁の改築・撤去及び流路の屈曲部の是正等を実施し、流下能力の向上を図ります。
- 事業期間 : 平成22年度～平成24年度(予定)
- 採択事業費 : 約3.2億円

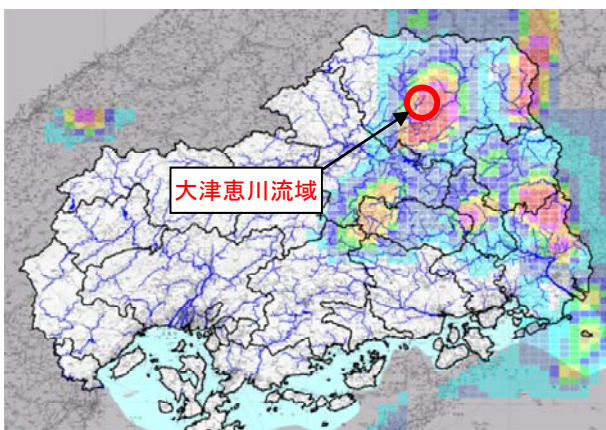
# 大津恵川 位置・気象状況

## 位置図

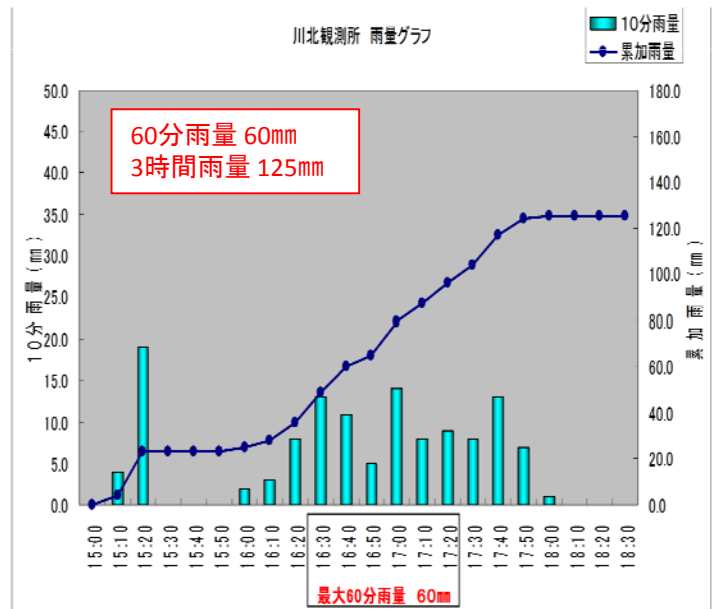


## 降雨状況

雨量レーダー 7月16日17時00分



観測所名: 川北(庄原市川北町)

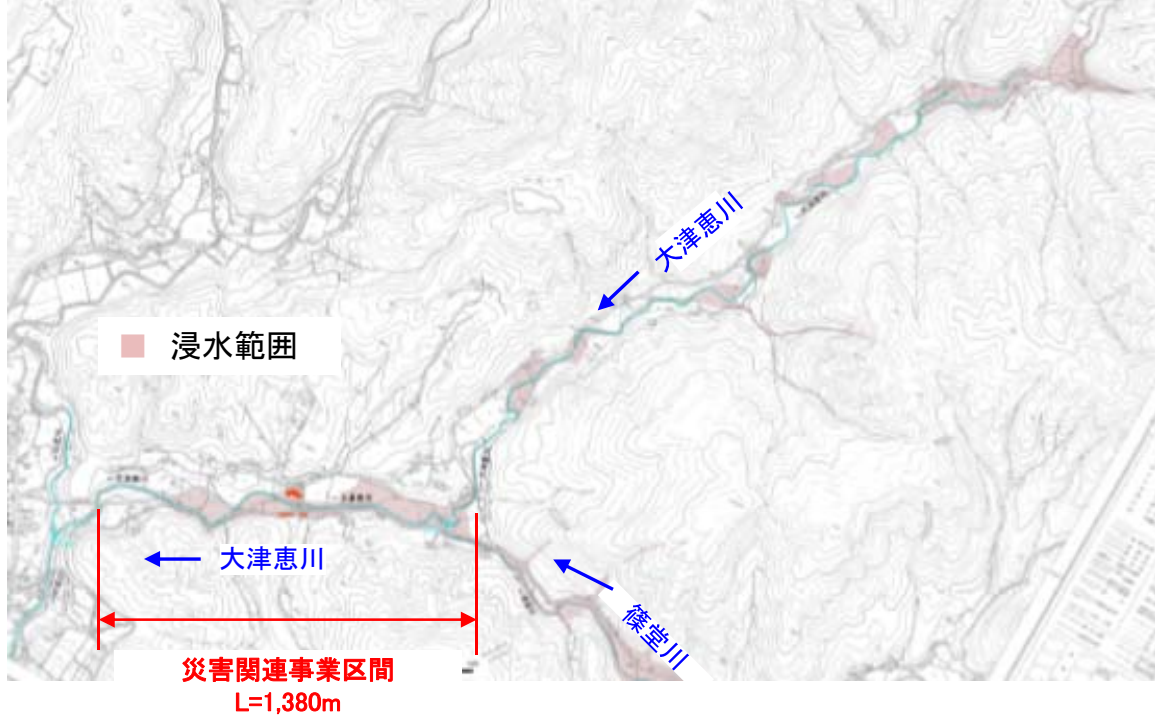


60分最大雨量 60mm  
 24時間最大雨量 125mm (16日15:00~18:00の3時間で記録)  
 7月11日~14日累加雨量 240mm

# 大津恵川 豪雨による被災状況

7月16日夕方に庄原市川北町付近において発生した局地的な豪雨により、土砂崩れや河川の氾濫で死者1名、家屋の全壊14棟、半壊3棟など甚大な被害が発生した。

一級河川江の川水系大津恵川でも溢水氾濫し、沿川では家屋(4戸)の浸水被害が生じるとともに、既設コンクリート護岸が被災するなどの被害が発生した。



大津恵川周辺の被災状況



既設のコンクリート護岸が崩壊

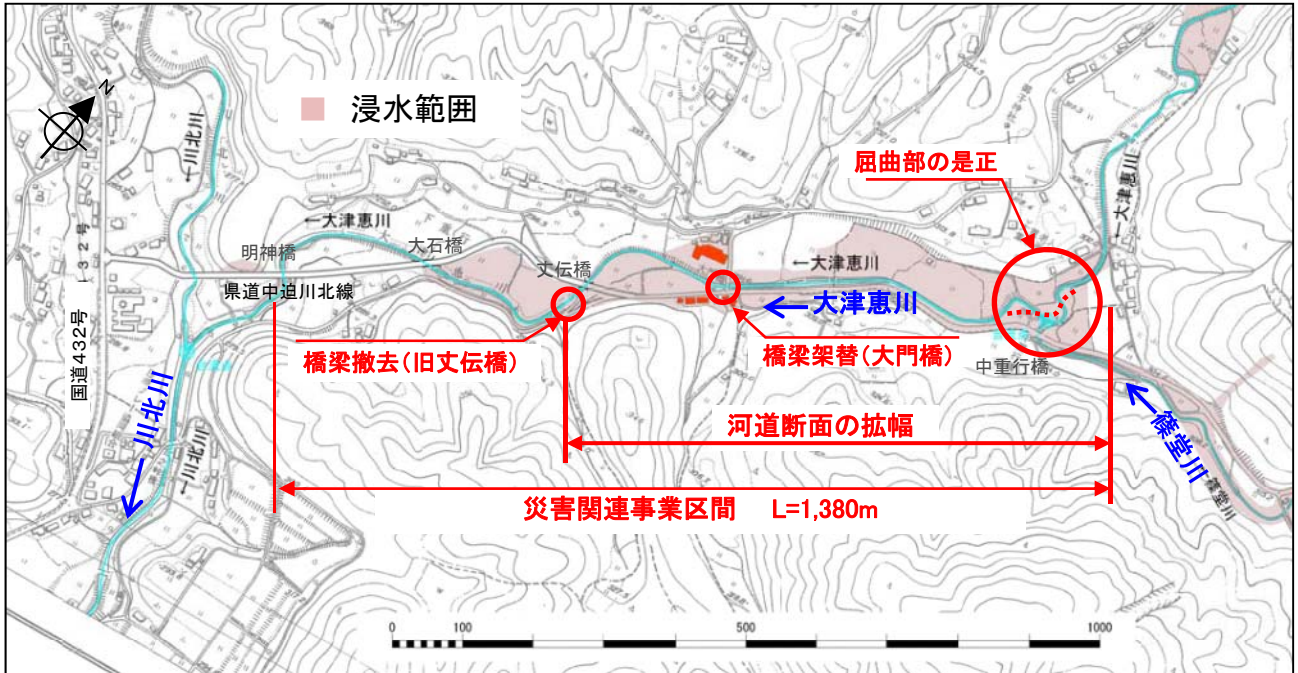


橋梁に流木や土砂が堆積し、氾濫を助長

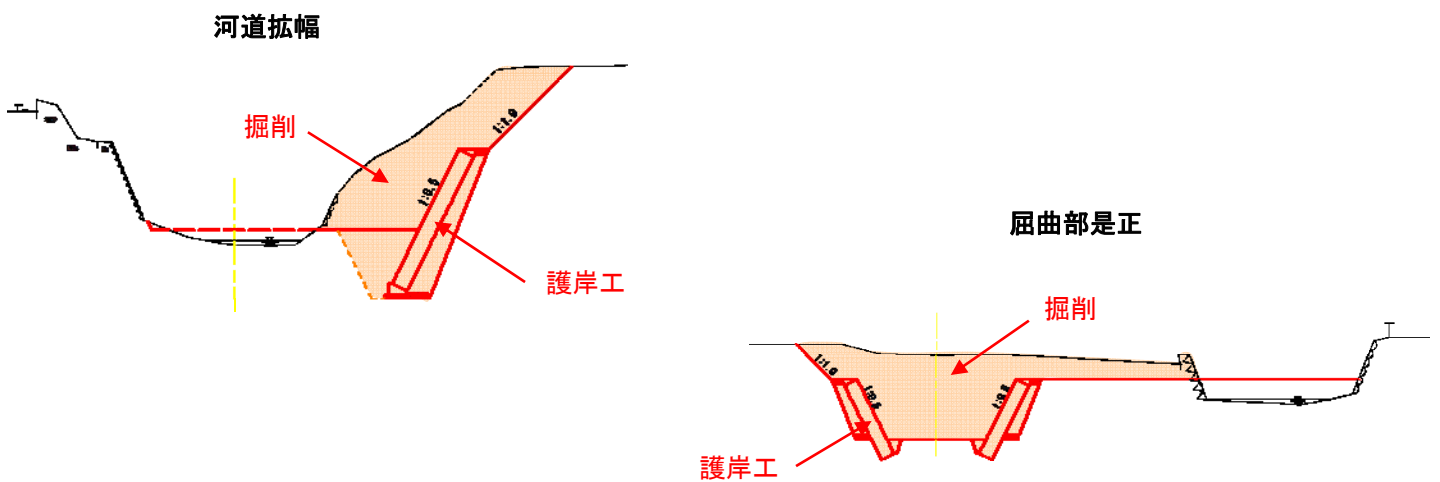
# 大津恵川 河川等災害関連事業の概要

大津恵川の河道断面の拡幅、橋梁の架替・撤去、屈曲部の是正等を実施。

## 平面図



## 標準断面図



なかさこかわきたせん  
一般県道 中迫川北線の法面对策、道路拡幅に着手！

～道路災害関連事業(関連事業)を採択～

平成22年7月16日の庄原市において発生した局地的な豪雨により、山側法面の崩壊や土石流によって県道が埋塞し、全面通行止めとなっている一般県道中迫川北線において、道路災害関連事業を採択しました。

広島県では、今年度から3年間の予定で安全な道路空間の確保を図るための事業を実施することとなります。

(参考)

■関連事業の概要

- 事業主体： 広島県
- 事業区間： 5,380m  
しょうばらし さいじょうちょう おおや かわきたちょう しげゆき  
(広島県庄原市 西城町大屋 ～ 川北町重行)
- 事業内容： 豪雨によって被災した道路施設の災害復旧にあわせて、不安定な土塊の流出を防ぐための待受擁壁や道路拡幅等を実施し、安全な道路空間の確保を図ります。
- 事業期間： 平成22年度～平成24年度(予定)
- 採択事業費： 約4.1億円

# 中迫川北線 位置・気象状況

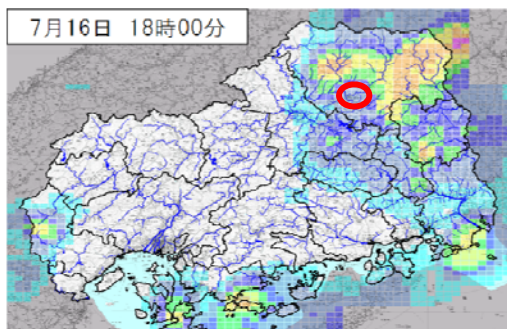
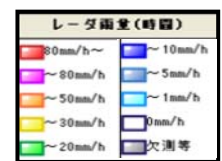
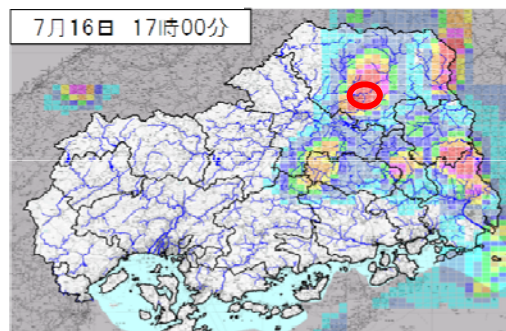
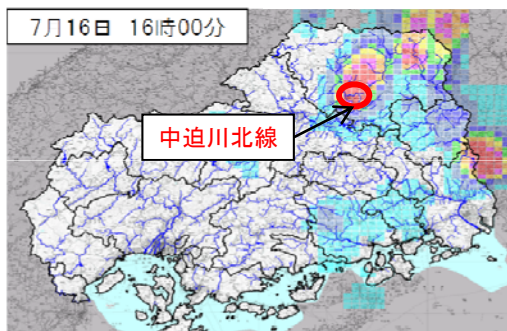
〈位置図〉



〈気象状況〉

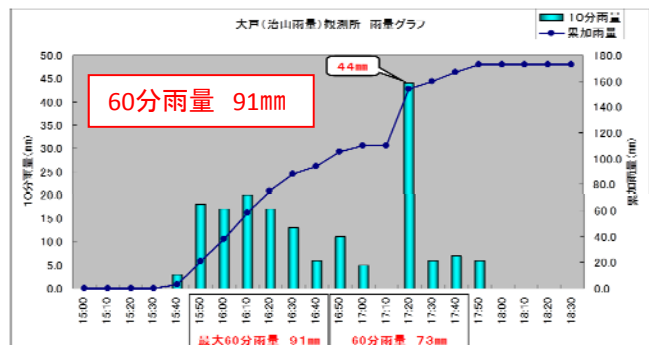
○7月16日は、大気の状態が非常に不安定となり、庄原市で局地的な豪雨となった。  
 ○大戸雨量観測所では、60分間に91mm、10分間に44mmの猛烈な雨を観測した。

雨量レーダ



雨量観測所

観測所名:大戸(庄原市西城町)

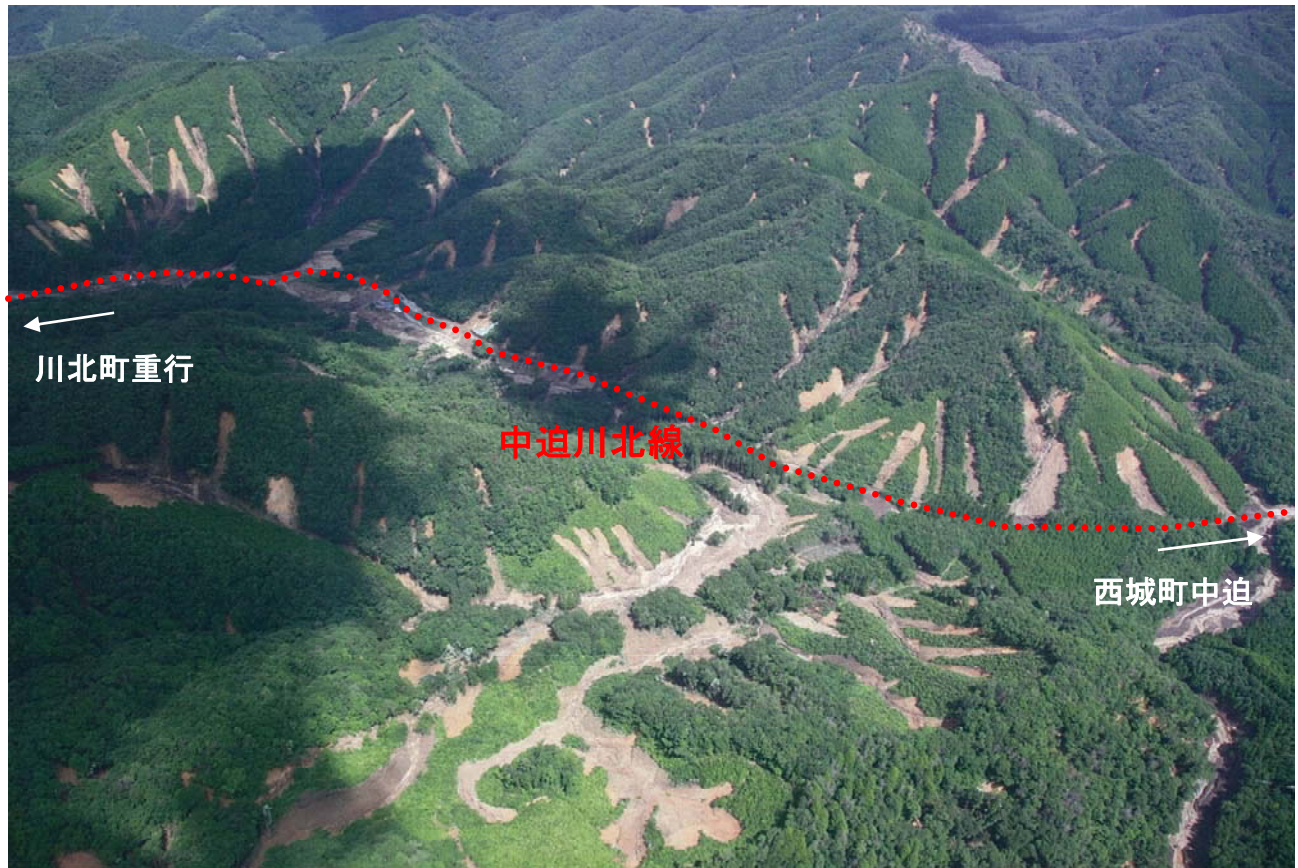


## 中迫川北線 豪雨による被災状況

一般県道中迫川北線は、主要地方道西城比和線と国道432号を結ぶ、延長10.3kmの道路で、地域住民の生活道路となっている。

7月16日夕方に庄原市川北町付近において発生した局地的な豪雨により、山側法面の崩壊や土石流によって一般県道 中迫川北線が埋塞し、全面通行止めになるとともに、沿道の家屋が損壊した。

広島県では、16日から進入路を確保するための応急工事を実施し、孤立集落(大戸地区)の解消等の対応を実施している。



豪雨により斜面崩壊が多数発生し、土砂が流出



流出した土砂で道路が埋塞



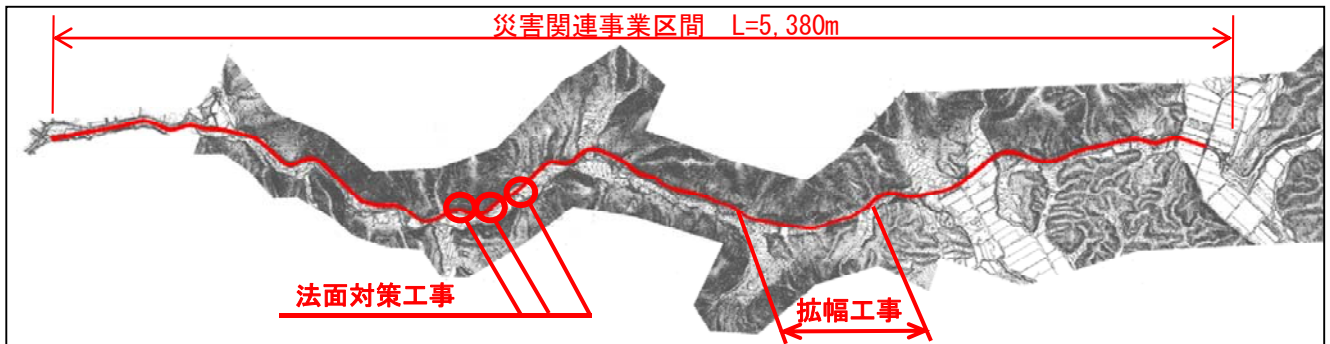
流出した土砂で沿道の家屋が損壊



# 中迫川北線 道路災害関連事業の概要

災害復旧工事に追加して法面对策工事(擁壁等)を実施するとともに、幅員狭小区間については、前後の改良済み区間の幅員に合わせて拡幅工事を実施。

## 平面図



## 断面図

